

## IX 新型インフルエンザA/H1N1等への対応

### 1 基本方針

#### (1) 社会全体での取り組み

新型インフルエンザの今後の流行拡大に対応するには、行政、医療機関、企業、学校、住民など社会の構成員それぞれが連携・協力し、感染拡大防止に積極的に取り組む。

#### (2) 既存の医療資源を活用した対応の検討

感染拡大に備えて新型インフルエンザに対応した医療資源の充実を図る必要があるが、目前に迫った危機に対して医療体制を今すぐ大幅に拡大することは容易なことではない。そのため、軽症者の自宅療養、重症化のおそれが高い患者の一般医療機関における診療、患者の入院期間調整など、既存の医療資源を最大限有効に活用する現実的な方法を検討する。

#### (3) 自らの健康は自ら守る意識の醸成

新型インフルエンザの流行を乗り切るには、住民が自らの健康を守る意識を持ち、正しい知識に基づいて適切に行動することが不可欠である。また、十分な栄養と睡眠をとって健康に留意する、基礎疾患を持っている方はその治療に努めるなど、平素からの新型インフルエンザに負けない身体づくりや、肺炎球菌や季節性インフルエンザなどの各種ワクチンの接種や基礎疾患の適切な管理を啓発する。

#### (4) 感染状況や重症者の発生状況による柔軟な対応の実施

新型インフルエンザの今後の流行や重症者の発生状況については不明な点が多いため、固定的な対策で対処することは困難である。そのため、今後の新型インフルエンザ流行や、H5N1インフルエンザ等新たなインフルエンザ出現に対する備えとして、対策項目別に対策を用意し、状況に応じて選択していく。

#### (5) 基礎疾患を有する者（※）への対応の充実

新型インフルエンザに罹患することで重症化するリスクが高いと考えられている者への対応を重点的に行う。

※ 妊婦、幼児、高齢者、慢性呼吸器疾患・慢性心疾患・代謝性疾患（糖尿病等）・腎機能障害・免疫機能不全（ステロイド全身投与等）等を有しており治療経過や管理の状況等を勘案して医師により重症化へのリスクが高いと判断される者等。（マニュアル11別紙1）

## X 発生段階に応じた対応（A/H1N1レベル1・レベル2）

H5N1型の新型インフルエンザに備えた対策計画は、発生の段階に応じた対応をとっており、新型インフルエンザの未発生期から、海外発生期、国内発生早期、感染拡大期・まん延期・回復期、小康期に至るまでを5段階に分類していたが、A/H1N1等の新型インフルエンザ対策計画については、国内発生早期から回復期までを「国内発生期」として整理する。

（Ⅶ発生段階に応じた対応と危機管理体制 4 発生段階（H5N1等）及び対策本部設置基準による）

### 1 未発生期の対策

新型インフルエンザ関連情報を収集し、新型インフルエンザ発生の蓋然性について、随時、評価、分析を行い、「Ⅷ 発生段階に応じた対応計画」「1 前段階（未発生期）新型インフルエンザが発生していない状態」の対策を実施する。